



きらめく まちビト

×
横田 淳一郎

旧名寄市の母村であり、姉妹都市として交流活動を推進してきた山形県鶴岡市(旧藤島町)との職員交流で、平成31年4月から名寄市役所企画課で働いている横田淳一郎さん。鶴岡の魅力やこれからの目標などについてインタビューしました。

半年間で名寄が大好きになりました。いいところを発信していきたいです。

名寄の第一印象と半年住んで
みての感想は

第一印象は「住みやすい！」の一言に尽きました。買い物もしやすく、大きな病院もあり、生活に必要なものが充実していると思いました。

住み始めて半年が経ちましたが、職場の皆さんや近所の方々の優しさにもいつも救われています。

鶴岡市はどんなまちですか

鶴岡市は平成17年に1市4町1村が合併して誕生した街で、東北一の面積を持つため、さまざまな風土・文化を持っています。特に日本で唯一「ユネスコ食文化創造都市」に認定されており、伝統料理や在来作物、それに関わる古来からの文化は世界的に注目を集めています。また、市内には1400年の歴史を持つ出羽三山や、庄内藩主・酒井家の居城であった鶴ヶ岡城跡などがあり歴史・文化が非常に深い他、クラゲ展示数世界一の加茂水族館などがあります。5月に開催される天神祭や8月の庄内大祭・赤川花火大会、1月の寒鰯まつりなど、たくさん催しが一年を通して行われていますのでぜひ観光に行ってみてください。

鶴岡市ではどんな仕事をして
いましたか

鶴岡では羽黒地域の観光を担当していました。羽黒地域は県内有数の観光地である月山・羽黒山をはじめ、多くの観光資源を持っています。それらの観光地の催しの企画や補助、関連施設の維持管理をしていました。また、一住民として、お祭りやイベントにも毎週のように参加していました。

名寄市ではどんな業務を担当
していますか

総務部企画課で、主に町内会や利雪親雪に関わる仕事をしています。町内会長さんなど地域の方々と一緒に、市への意見を集めたり、地域課題の把握に努めています。今までは町内会連合会総会や、町内会長と行政との懇談会などを開催してきました。現在は行政と住民の意見交換の場である「まちづくり懇談会」や「なよろ冬カレンダー」などの準備をしています。 ※まちづくり懇談会の日程は本誌14ページに掲載しています。

名寄で挑戦してみたいことは

私は学生時代札幌に住んでいましたが、比べ物にならない

いくらい寒いと聞いています。サンピラー現象の撮影やワカサギ釣りなど、寒くなればできないことをしたいです！ また、市立天文台での天体観測や天体の写真撮影もしてみたいです。

名寄市民へひとこと

名寄のイベントでは鶴岡を、鶴岡のイベントでは名寄を宣伝します。10月19日(土)20日(日)に鶴岡で開催される「大産業まつり」では、名寄ブースで特産品の販売をするほか、特設ステージで名寄のPRをします。個人的にも、SNSなどで名寄の良い所を宣伝しています！私が名寄で生活できる期間は限られていますが、名寄を存分に満喫したいと考えています。見かけたらぜひ声をかけてください！

Profile

横田 淳一郎 (よこた じゅんいちろう)

平成4年11月生まれ。山形県鶴岡市出身。大学・大学院時代は札幌市で過ごす。平成29年鶴岡市役所入庁、羽黒庁舎産業建設課に2年間配属され、その後名寄市へ派遣。趣味は歌うこと、ピアノ、カメラ、旅行。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。